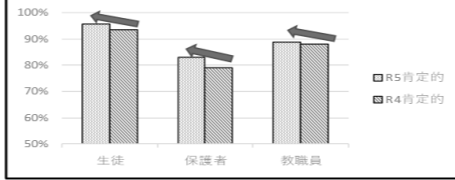
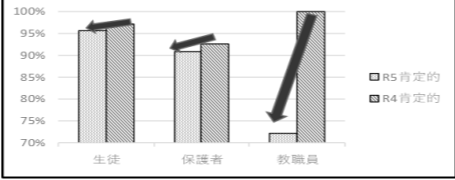
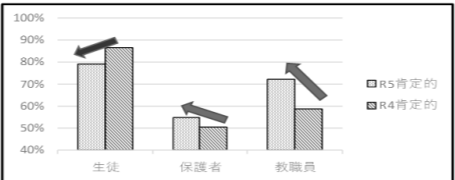
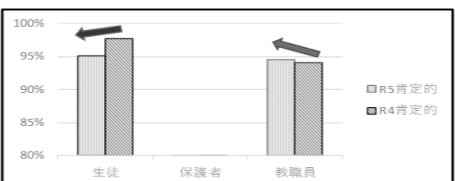
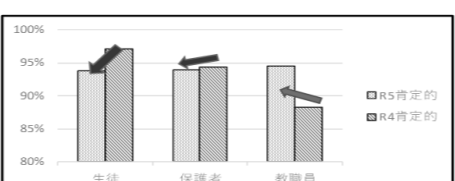
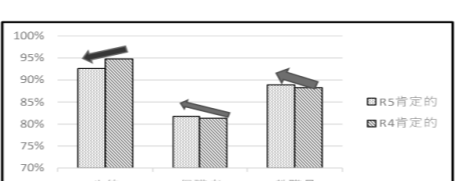


令和5年度 江津市立青陵中学校「生徒・保護者・職員アンケート（学校評価）」結果

	アンケート結果（昨年との比較資料）					分析と次年度への展望	
全般 ①	① 青陵中は良い学校になってきた。	R5肯定的	R5否定的	R4肯定的	R4否定的		<p>【評価目標】肯定的評価80%以上 生徒A 保護者A 教職員A → <b>＜総合評価＞A</b> ◆肯定率は目標値を上回っているが、生徒・保護者の肯定率は昨年度に比べ低下している。特に、生徒の低下が大きい。 【次年度に向けて】今後とも生徒と共によりよい学校づくりに取り組んでいく。全校生徒が「誰もが誇れる学校」を実感できるような具体的な取り組みを重ねていく。</p>
	生徒	85.8%	14.2%	97.7%	2.3%		
全般 ②	② 「チーム青陵」ということを意識して生活した。	R5肯定的	否定的	R4肯定的	否定的		<p>【評価目標】肯定的評価80%以上 生徒A 教職員A → <b>＜総合評価＞A</b> ◆肯定率は目標値を上回っているが、生徒の肯定率は昨年度より低下し、教職員との差が大きい。 【次年度に向けて】全校生徒が一体となって取り組む機会が少なかったことが、今回の結果に繋がっているように考える。今後も全校生徒が一体感を味わえるような取り組みを推進するとともに、生徒が自治的・自発的に活動できるように授業をはじめとする様々な教育活動を工夫していく。</p>
	生徒	87.7%	12.3%	93.6%	6.4%		
志 ①	③ 目標や意欲をもって生活しようとした。	R5肯定的	否定的	R4肯定的	否定的		<p>【評価目標】肯定的評価80%以上 生徒A 保護者B 教職員A → <b>＜総合評価＞A</b> ◆保護者・教職員共に昨年度の肯定率より上昇したが、生徒の肯定率はやや低下した。 【次年度に向けて】キャリア教育に重点を置いた講演会等を積極的に取り入れたことが、結果として表れている。今後は、学級活動を中心に生徒が将来の目標をもって学校生活を送れるような具体的な取り組みを実践していく。</p>
	生徒	92.0%	8.0%	96.0%	4.0%		
志 ②	④ 自分からすすんで学習に取り組もうとした。	R5肯定的	否定的	R4肯定的	否定的		<p>【評価目標】肯定的評価80%以上 生徒A 保護者B 教職員B → <b>＜総合評価＞B</b> ◆生徒・保護者・教職員共に昨年度の肯定率を下回った。 【次年度に向けて】今年度生徒が自主的に学習に向かう機会として放課後学習会を実施したが、結果に繋がらなかった。今後は生徒が主体的に取り組む授業の充実を図りながら、課題の提示の仕方にも一層工夫をしていく。</p>
	生徒	82.7%	17.3%	93.0%	7.0%		
志 ③	⑤ 友だちと一緒に考えたり協力したりしながら学習しようとした。	肯定的	否定的	肯定的	否定的		<p>【評価目標】肯定的評価80%以上 生徒A 職員A → <b>＜総合評価＞A</b> ◆生徒・職員共に肯定率は昨年度に比べ上昇している。 【次年度に向けて】教職員は対話的、探究的な学習を取り入れた授業改善に積極的取り組んでいる。その成果が表れてきていると考える。</p>
	生徒	87.0%	13.0%	83.7%	16.3%		
朗 ①	⑥ 明るく元気に生活できた。	R5肯定的	否定的	R4肯定的	否定的		<p>【評価目標】肯定的評価80%以上 生徒A 保護者A 教職員A → <b>＜総合評価＞A</b> ◆生徒・保護者・教職員共に昨年度と同様の肯定率を維持している。 【次年度に向けて】今後も「道徳教育」「人権教育」の充実を図り、生徒同士さらには生徒と教職員がよりよい人間関係のもと、いきいきと意欲的に学校生活を送れるような環境づくりに取り組んでいく。</p>
	生徒	92.0%	8.0%	93.0%	7.0%		
朗 ②	⑦ 親や先生、友だちの意見や考え、アドバイスを聞こうとした。	R5肯定的	否定的	R4肯定的	否定的		<p>【評価目標】肯定的評価80%以上 生徒A 保護者A 教職員A → <b>＜総合評価＞A</b> ◆生徒・保護者・教職員共に高い肯定率を維持しているが、生徒の肯定率は若干下がっている。 【次年度に向けて】人権・同和教育、道徳教育の充実を始め、日常では対話的な授業実践の推進に一層努めていく。また、教育相談を始め、放課後や昼休みに生徒と対話する時間を増やしていく。</p>
	生徒	91.4%	8.6%	94.8%	5.2%		

令和5年度 江津市立青陵中学校「生徒・保護者・職員アンケート（学校評価）」結果

	アンケート結果（昨年との比較資料）					分析と次年度への展望	
朗 ③	⑧ 礼儀やマナーを守って人と接した。	R5肯定的	否定的	R4肯定的	否定的		<p>【評価目標】肯定的評価80%以上 生徒A 保護者A 教職員A → <b>＜総合評価＞A</b> ◆保護者の肯定率は昨年度より上昇し、目標値に達した。生徒・教職員は昨年度と同様の肯定率を維持している。 【次年度に向けて】今後も「み（身だしなみを整える）・そ（掃除に真剣に取り組む）・あ（挨拶をきちんとする）・じ（時間を守る）」の徹底を生徒会と連携し、継続して取り組んでいく。また、学級での話し合いを通して、自分やクラスの生活を振り返り、よりよい学校生活をめざす活動を取り入れる。</p>
朗 ④	⑨ 交通ルールや校則を守って生活した。	R5肯定的	否定的	R4肯定的	否定的		<p>【評価目標】肯定的評価80%以上 生徒A 保護者A 教職員B → <b>＜総合評価＞A</b> ◆生徒・保護者は高い肯定率を維持しているが、教職員の肯定率は大幅に低下した。 【次年度に向けて】下校時の交通マナーが悪く、指導する機会が多かったことが教職員の肯定率低下の要因となっている。「『生活のこころえ』を確認する機会を増やす。」「下校指導を定期的に行う。」「生徒会活動で問題提起・改善案を考える。」「PTA家庭教育部の活動と連携する。」などの具体的に目に見える指導の機会を増やしていく。</p>
創 ①	⑩ いろいろな人の話を聞くことを通して、自分の将来について考えた。	R5肯定的	否定的	R4肯定的	否定的		<p>【評価目標】肯定的評価80%以上 生徒B 保護者B 教職員B → <b>＜総合評価＞B</b> ◆生徒の肯定率が下がり、目標値を下回った。一方で、保護者・教職員の肯定率は上昇したが、共に目標値までには至っていない。 【次年度に向けて】キャリア教育に重点を置いた講演会等を積極的に取り入れたことが、結果として表れているが、生徒が将来のことに繋げていくような手立てが不十分であった。講師の方と関わりながらお話を聴くような参画型の講演会を実施したり、講演会後の振り返りで生徒同士で意見交換する場を設定するなどの工夫をしていく。</p>
和 ①	⑪ 学級の仲間の考えや話をきちんと聞こうとした。	R5肯定的	否定的	R4肯定的	否定的		<p>【評価目標】肯定的評価80%以上 生徒A 教職員A → <b>＜総合評価＞A</b> ◆生徒の肯定率は少し低下したが、教職員の肯定率と同様高い肯定率を維持している。 【次年度に向けて】学級での話し合い活動の充実を目指し、意識的に話し合いの場を設定する。ホームページを始め学級だよりや学年だよりなどを活用し、その様子が保護者や地域の皆様にも伝わるよう工夫する。</p>
和 ②	⑫ 学級や学年、部活動などの仲間とは、お互い助け合って生活した。	R5肯定的	否定的	R4肯定的	否定的		<p>【評価目標】肯定的評価80%以上 生徒A 保護者A 教職員A → <b>＜総合評価＞A</b> ◆生徒の肯定率は下がったが、高い肯定率を維持している。保護者と教職員は昨年度とほぼ同じ肯定率であった。 【次年度に向けて】体育祭や文化祭などの学校行事を通して、学年や学級に連帯感が生まれるような取り組みを工夫していく。学級での話し合い活動を通して、お互いの意見を尊重し合い、学級の一体感が生まれるような取り組みを実践していく。</p>
和 ③	⑬ あなたはいじめなどをせず、相手の気持ちを考え、仲間を大切にしようとした。	R5肯定的	否定的	R4肯定的	否定的		<p>【評価目標】肯定的評価80%以上 生徒A 保護者A 教職員A → <b>＜総合評価＞A</b> ◆生徒の肯定率はやや下がったが、高い肯定率を維持している。保護者と教職員は昨年度とほぼ同じ肯定率であった。 【次年度に向けて】人権・同和教育、道徳教育に力を入れ、教育相談やいじめアンケート等を活用し、教職員一丸となっていじめ撲滅に取り組んでいく。また、いじめに繋がるような事案に対して、早期に対応できるよう職員の人権感覚を磨き、力量を高める。</p>

【総括・まとめ】

- 学校評価の結果を踏まえて、保護者も改善策を考える機会をつくる。保護者に学校評価アンケートは、学校をよくするための取組であることを、事前に認識していただく必要がある。
- 参観日などの参加数などを保護者に伝えるなど、ことあるごとに情報発信を心がけるなど、情報発信に力を入れる。併せて保護者と情報を共有できるツールを活用する。